

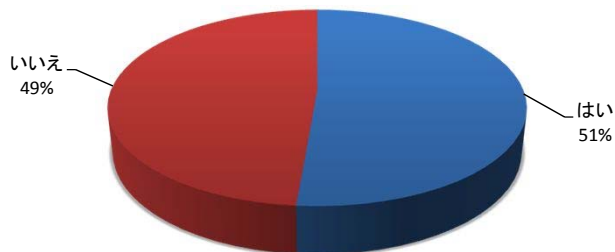
医療と介護の連携ハンドブック(Ver.1)の周知状況について

No.	日付	説明会実施先	対象者 (◎は主たる対象者)											配布部数			
			診療所 医師	病院 医師	歯科 医師	病院 看護師	訪問 看護師	薬剤師	MSW	ケアマ ネ	包括	リハビリ	行政		学生		
1	2018/6/15(金)	県介護支援専門員研修用(7/4開催)								○							300
2	2018/6/18(月)	市居宅介護支援事業者連絡会(6/20開催)								○							320
3	2018/6/18(月)	区高齢介護係長会議												○			40
4	2018/6/20(水)	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会研修会								○							277
5	2018/6/26(火)	ST東ご当地連携研修会(リレー学習会)	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	80
6	2018/6/27(水)	にいがたみなみネットワーク	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	88
7	2018/6/28(木)	NS・どまんなか					○										13
8	2018/7/3(火)	新潟中央病院研修会		○		◎		○	○				◎				60
9	2018/7/4(水)	南区深める会(7/9の運営委員会配布用)	○		○	○	○	○	○	○	○			○			20
10	2018/7/5(木)	新潟市東区訪問看護ステーション合同会議					○										5
11	2018/7/6(金)	施設ケアマネ研修会(県介護支援専門員協会)								○							40
12	2018/7/6(金)	緩和ケアリンク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
13	2018/7/11(水)	保健師連絡会議												○			60
14	2018/7/11(水)	ST西蒲ご当地連携研修会(7/18開催)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100
15	2018/7/11(水)	江南区包括連絡会							○		◎			○			12
16	2018/7/13(金)	市居宅介護支援事業者連絡会ブロック世話人会								◎							20
17	2018/7/19(木)	ST中央第二ご当地連携研修会															70
18	2018/7/19(木)	ST江南ご当地連携研修会		○		○		○		◎							70
19	2018/7/23(月)	北区看護部長説明会(豊栄病院)				◎				○							25
20	2018/7/31(火)	西区看護部長会				○											10
21	2018/7/31(火)	地域包括支援センター新任者研修									○						20
22	2018/8/3(金)	済生会新潟第二病院退院支援担当者会議				○											20
23	2018/8/28(火)	病院連携会議		○		○			◎								50
24	2018/9/3(月)	桑名病院研修会		○		◎		○	○				◎				90
25	2018/9/7(金)	施設ケアマネ研修会								◎							25
26	2018/10/2(火)	南浜病院研修会		○		○		○	○				○				150
27	2018/10/6(土)	CanCanミーティング				○	○										80
28	2018/10/15(月)	北区入退院時の連携等を考える会							○	○	○						31
29	2018/10/17(水)	在宅医療ネットワーク事務担当者会															17
30	2018/10/26(金)	中堅保健師研修Ⅰ												○			8
31	2018/11/16(金)	西区介護支援専門員ブロック別研修会								◎							103
59	2018/12/10(月)	中堅保健師研修会Ⅲ												○			36
33	2018/12/12(水)	松浜病院研修会				○			○								30
34	2018/12/17(月)	青陵大学「在宅看護論」													◎		100
35	2018/12/20(木)	西蒲区介護支援専門員ブロック別研修会							○	○							75
36	2019/1/16(水)	西蒲メディカルセンター病院研修会		○		○		○	○				○				80
37	2019/1/21(月)	臨港病院施設ケアマネ研修会								○							45
38	2019/1/22(火)	CanCanミーティング				○	○										100
39	2019/2/22(金)	中堅保健師研修Ⅱ												○			4
40	2019/2/18(月)	臨港病院居宅ケアマネ研修会								○							40
41	2019/3/26(火)	木戸病院研修会															60
—	—	その他、医療・介護関係機関に約1,800部配布済み															
合計		説明会:41回, 配布部数4,621部															

「医療と介護の連携ハンドブック」説明会アンケート結果

アンケート回収数：264

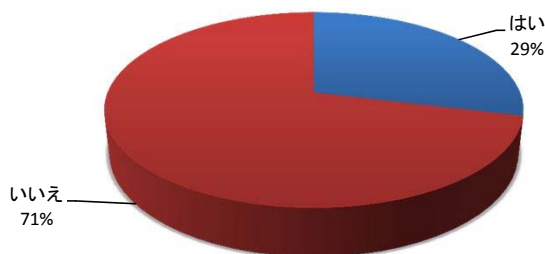
①在宅医療・介護連携ステーション
をご存知でしたか？



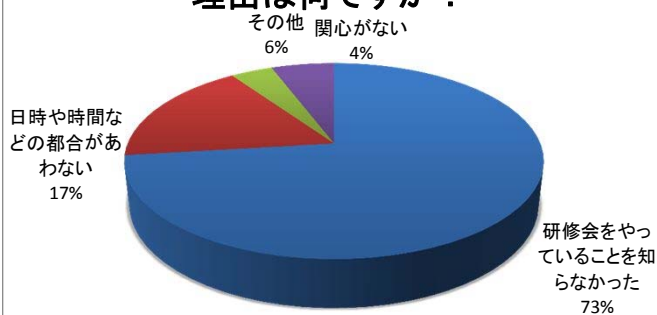
②-1在宅医療・介護連携ステーションへ
何か相談をしたことがありますか？



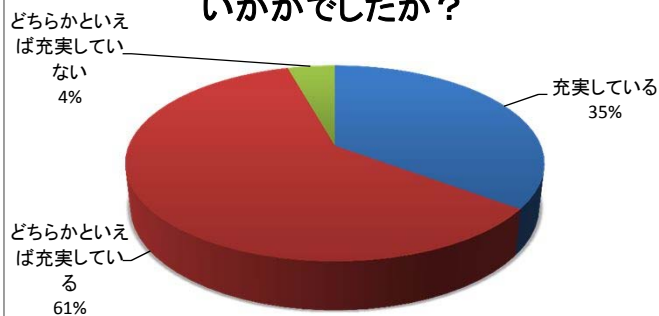
②-2院外で開催される多職種が集う
研修会に参加したことはありますか？



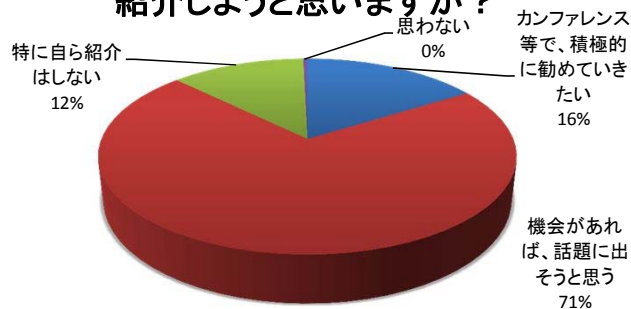
②-2研修会に参加したことがない
理由は何ですか？



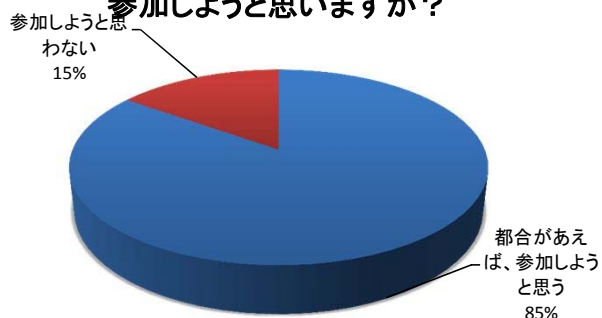
③ハンドブックの内容は
いかがでしたか？



④院内や病棟内で、ハンドブックを
紹介したいと思いますか？



⑤院外でのハンドブックの研修会へ
参加しようと思いませんか？



③-2研修会不参加理由(「その他」欄)

- 1 専門でないと考えていたため。
- 2 ケースなどを挙げていただけると良い。
- 3 日時や時間などの都合があわない。
- 4 研修参加のスタッフに当たらなかったため。
- 5 PSWIをお願いしていた。

④ハンドブックの内容に対する意見(自由記載)

- 1 知らない情報もわかりやすく記載してある。調査結果の関係者の声リアルでそう思っているのだと思った。
- 2 ケアマネなど在宅サービス担当者の困っていることや考え方がわかる。
- 3 内容がとても濃く充実している。勉強になった。
- 4 介護保険サービスの種類では内容の説明があり、わかりやすかった。
- 5 共通ツールとして良いと思った。
- 6 退院先の施設の種類のサービス等、入職したばかりの新人には特に分かりやすいと思う。
- 7 サービスがよく分からない職員にとっては、最低限のサービスについて分かりやすく記載してあり、良いと思う。
- 8 小さい字が多く、ぐちゃっとした印象を受けた。フローシートがわかりやすくして普段も使えると思う。
- 9 フローチャートなどをもう少し増やしては。
- 10 連携ステーションや介護保険サービスにどういったものがあるのか知ることができてよかった。
- 11 現場でどのように活用したら良いか今の時点でイメージができないので、実際の活用例等を知りたいと思った。
- 12 最近では自宅退院よりも施設入所を望む家族が多いように感じる。そのような時の活用の仕方がわかるとよい。
- 13 高齢者の医療の必要性が高いことを重視すると良いかもしれない。
- 14 ハンドブックというよりは新潟市が今後進めていく方針・方向性。それに伴う考え方を明示したような感じ。
- 15 委員に精神分野の代表者がいないのはなぜか。必要ではないのか。ケアマネよりも包括との連携に難を感じることもある。
- 16 現実的な流れが、もう少し整えば良い。精神科として、関われる事は何か。
- 17 当院の実情からもうひとつイメージがわからない。わからない。
- 18 よくわからない。
- 19 研修会で受け取っても、活用できていなかった。

⑤ハンドブックの展開に対する意見(自由記載)

- 1 内容が分かりやすかったので紹介しやすい。
- 2 簡単であるから。
- 3 とても充実した内容ではないだろうか。
- 4 病棟の中のスタッフみんなが知れるといいと思う。
- 5 入院患者は後期高齢者が多いため必要と感じる。
- 6 話題に出していかないと、作った意味がない。
- 7 院内での退院支援に活用できると良さそう。
- 8 連携がうまくいかなかった場面で活用できそうだった。
- 9 患者が退院する際に活用していけるとよい。
- 10 ③と同様。具体的なイメージがなく、論議につながらない。
- 11 使い方がまだよくわからない。
- 12 上手く説明できる自信がない。
- 13 内容をよく理解できていないため。
- 14 文章の量が多く、どこが大切かぼやけてしまうから。
- 15 今回の研修会で在宅医療・介護連携ステーションを詳しく理解することができなかった。MSW等との違いがよくわからなかった。

⑥院外でのハンドブックを活用した研修会に対する意見(自由記載)

- 1 連携について知りたい。
- 2 実践の場で役に立つ。
- 3 多職種との連携は大切なことだと思うため
- 4 病院のスタッフや地域の人々が多く参加する会ならば参加したい。
- 5 知識として学ぶ必要があると感じた。
- 6 他の事業所の方がどう考えているか聞いてみたい。
- 7 ケースカンファレンスなどは、実際のケースで練習できていいと思ったので。
- 8 連携に向けた知識の向上が必要と思うため。
- 9 事例を用いたもので実際に多職種で話し合う機会があれば勉強になると思う。
- 10 以前参加させていただき、多職種とお話しさせてもらい、非常に勉強になった。各々の立場の理解の一助になった。
- 11 顔の見える関係は大事である。
- 12 病院等の情報を知ることで、医療との連携がしやすくなるため(顔の見える関係構築)
- 13 参加が難しい。
- 14 なかなか時間が取れない。
- 15 今は、介護と殆ど関係のない部署にいるため、参加しようと思わない。
- 16 病棟にPSWがいるから、参加の必要性を感じない。
- 17 関心がない。

⑦ハンドブック全体に対する意見

- 1 介護保険サービスについて詳しく教えて頂けたらよかった。
- 2 字が多かったのもう少し絵を多く取り入れるなど「見たい」と思わせるパンフレットだと良い。
- 3 連携フローの役割について院内でどの職種が行うか考えていく必要があると思った。
- 4 区ごとのものがあると良い
- 5 他の職種の思いや考えを知ることができると仕事に活かそう。
- 6 (掲載してほしいことはないが、以前に何回かケアマネに疑問をもったので。)連携のフローについては、ケアマネサイドにもよく知っておいてもらいたい。理由は「入院している間は、私、関わらないので」とか、「カンファには行きません」とか言う人がいたので。啞然とした。
- 7 今後の研修案内をいただきたい。
- 8 どのように活用していけばいいかわからない。
- 9 使用しながら、意見を上げていきたいと思う。
- 10 高齢化率のグラフ等のデータ、高齢者が多いことが分かる必要性。(スライドを掲載してもらいたい。)
- 11 精神疾患でも、多くの人がかかわるので、こういうBookがあるとわかりやすいと思った。色味がもう少しあつたりすると見易くなると思う。
- 12 概要やイメージ図が多く、具体的な活用方法までは・・・(ENT後の生活支援)。連携のポイントを具体的に組織図にさせていただくとわかりやすい。
- 13 地域での生活を退院後にその利用者や患者様が送る上で多職種連携が大切ということは、ハンドブックを通してわかった。連携は具体的にどのようなすればよいか?モデルケース(できている病院)を示してほしい。多職種間で連携が図れている病院は、“連携する上でこういう取り組み・しくみをしていますよ”とか・・・。
- 14 医療・介護での連携で、難題事例、単純?よくある事例などがあると、参考になり行動しやすく、問い合わせしやすくなるかもしれないと感じている。